



18/19年度の期末在庫、大豆・コーンともに下方修正

◆米農務省需給報告

○米国大豆

	※※2018-2019年度※※		※※2017-2018年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	438	438	302	302
生産	4,544	4,600	4,412	4,411
輸入	20	25	22	22
・供給合計	5,002	5,063	4,735	4,734
圧砕	2,090	2,080	2,055	2,055
輸出	1,875	1,900	2,129	2,129
種用	96	96	104	104
その他	31	31	9	8
・需要合計	4,092	4,107	4,297	4,296
期末在庫	910	955	438	438
在庫率	22.2%	23.3%	10.2%	10.2%
作付面積	89.2	89.1	90.2	90.1
収穫面積	88.1	88.3	89.5	89.5
イールド	51.6	52.1	49.3	49.3

○米国トウモロコシ

	※※2018-2019年度※※		※※2017-2018年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	2,140	2,140	2,293	2,293
生産	14,420	14,626	14,609	14,604
輸入	40	45	36	36
・供給合計	16,600	16,811	16,939	16,934
飼料用	5,375	5,500	5,304	5,298
食品・工業用等	7,040	7,080	7,056	7,058
内エタノール	5,575	5,600	5,605	5,605
・国内消費合計	12,415	12,580	12,360	12,355
輸出	2,450	2,450	2,438	2,438
・需要合計	14,865	15,030	14,799	14,793
期末在庫	1,735	1,781	2,140	2,140
在庫率	11.7%	11.9%	14.5%	14.5%
作付面積	89.1	89.1	90.2	90.2
収穫面積	81.7	81.8	82.7	82.7
イールド	176.4	178.9	176.6	176.6

(単位:100万ブッシェル、面積:100万エーカー、イールド:エーカー当たりブッシェル)

○18-19年度の期末在庫の事前予想平均値 (単位:100万ブッシェル)

大豆	926
トウモロコシ	1708

第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

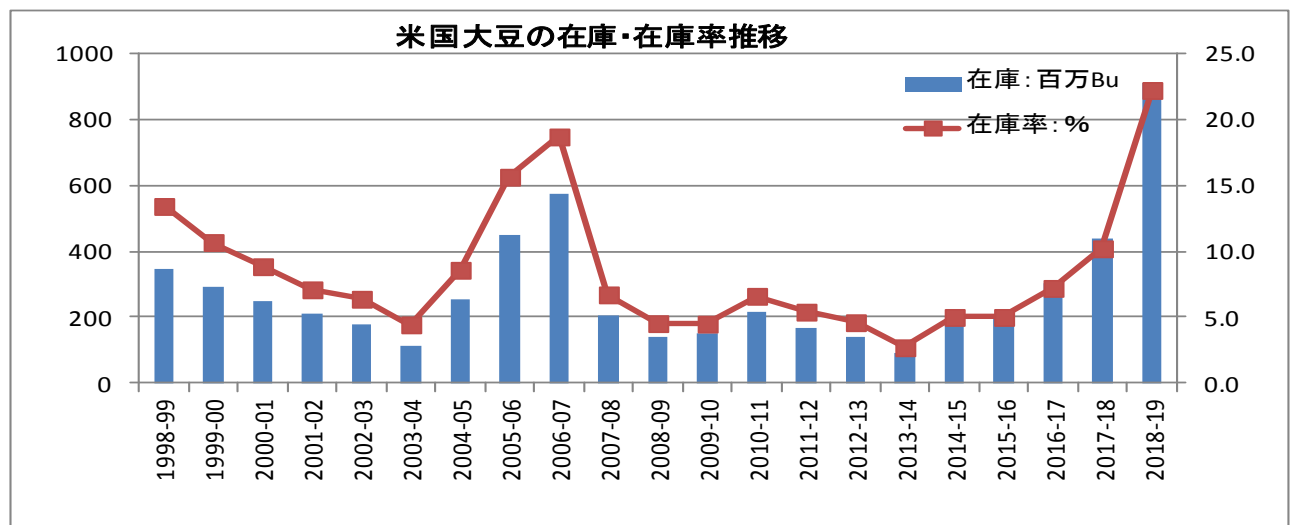
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口 (東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。

2月8日に米農務省から発表された需給報告では、米国の大豆の期末在庫が事前予想、前回予想をもとに下回った。一方とうもろこしは米国に期末在庫が下方修正されてものの、事前予想を上回った。同日のシカゴ市場では、同報告は大きなインパクトを与えず、大豆が取引終盤のショートカバーにより反発、トウモロコシは南米の天候改善に圧迫され下落して引けた。

○米国大豆

2018-19年度の期末在庫は、9億1000万ブッシェルで12月から4500万ブッシェルの下方修正。事前予想の9億2600万ブッシェルを下回った。

供給側では、生産高の下方修正などにより、供給合計が6100万ブッシェル引き下げられた。需要側では、圧砕を1000万ブッシェル引き上げる一方、輸出を2500万ブッシェル引き下げた。期末在庫率は22.2%で12月の23.3%から低下した。



○米国トウモロコシ

2018-19年度の期末在庫は、17億3500万ブッシェルで12月から4600万ブッシェルの下方修正。事前予想の17億0800万ブッシェルを上回った。

供給側は、生産高の下方修正などにより、供給合計が2億1100万ブッシェル引き下げられた。一方、需要側では飼料用を1億2500万ブッシェル、エタノールを2500万ブッシェル引き下げるなどした。期末在庫率は11.7%で12月の11.9%から低下した。

